

施工手順

特許出願中

平地型SP-T20
適応のり面勾配
平地～1：1.5程度

正面

断面

平地～1：1.5程度

急傾斜地型SP-N20
適応のり面勾配
1：1.2程度以上の急勾配

正面

断面

1：1.2程度以上の急勾配

※急傾斜地型SP-N20の場合、向きを間違えないでください。

●苗の植え付け

1. 本体中央部の植穴開口部より、手で内部の保護膜を破り、苗を植え付けます。
 2. 植穴開口部よりホース等で内部に注水し、内部より水があふれ出てくるまで十分に(約7ℓ)、水極め灌水をしてください。
 3. 植穴開口部の緩じ代を、市販のホチキスで6カ所止めてください。
- ※植穴開口部を既設寸法よりも大きく開けないでください。

●現場設置

平地型を平坦地に設置する場合は、固定する必要がありません。
平地型を緩傾斜地で使用するために補助固定する場合は、L型アンカー2本で図のように固定してください。
急傾斜地型を設置する場合は、L型アンカーを下図のように通常は3本用いて固定してください。
※現場の状況に応じてアンカーを増やしてください。

急傾斜地型SP-N10

施工手順はSP-N20と同様です。
※植穴開口部は、ホチキスで3カ所止めてください。



用途

切土のり面・盛土のり面・岩砕盛土部など、植栽困難地での苗木及び地被植栽。

製品仕様

製品仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。

| | 型番 | 用土量 (ℓ) | 適応樹高規格 | 備考 |
|--------|--------|------------|---|---|
| 平地型 | SP-T20 | 20 | H=50cm以下 これ以上の場合は支柱を併用し、H=80cmまで植栽可能 | ●外装部:耐候性ポリエチレンシート(茶色) ●複合人工土壌入り ●内部:断熱マット付き(SP-N10を除く) ●固形肥料入り |
| 急傾斜地型 | SP-N20 | 20 | | |
| | SP-N10 | 10 | H=50cm以下 | |
| 固定用 | LA-308 | L=300 φ8mm | 鉄製 | |
| L型アンカー | LA-306 | L=300 φ6mm | 鉄製 | |

■製造・販売元

ダイトウテクノグリーン株式会社
〒194-0013 東京都町田市原町田1丁目2番3号
TEL: 042-721-1703 FAX: 042-721-0944
http://www.daitoutg.co.jp

■代理店

株式会社 イズカ

〒693-0043 鳥根県出雲市長浜町337-13
TEL (0853) 28-2688(代) FAX (0853) 28-2802
E-mail: info@izuka.co.jp http://www.izuka.co.jp

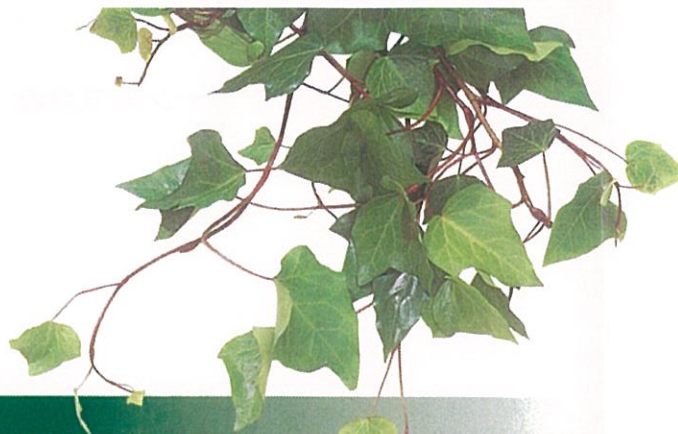
山肌を四季折々に彩る、
美しい日本の森を復元するために...

日本道路公団
特許出願中
適用商品



EG 植栽パック

植栽が難しい場所でも、
簡単、ローコストに緑化できる
資材が誕生しました。
その名をイージーグリーン(Easy Green)から、
EG植栽パックと名付けました。
従来のように植穴を掘削することなく、
パックに苗木を植え付けて植栽地に
置くだけで、すくすくと緑が育ちます。



EG植栽パックの特徴

特許出願中

コストと時間を短縮

パックに苗を植え、現地に設置する
だけと、施工が簡単のため、短期間
施工と施工費低減が可能です。

あらゆる場所を簡単に緑化

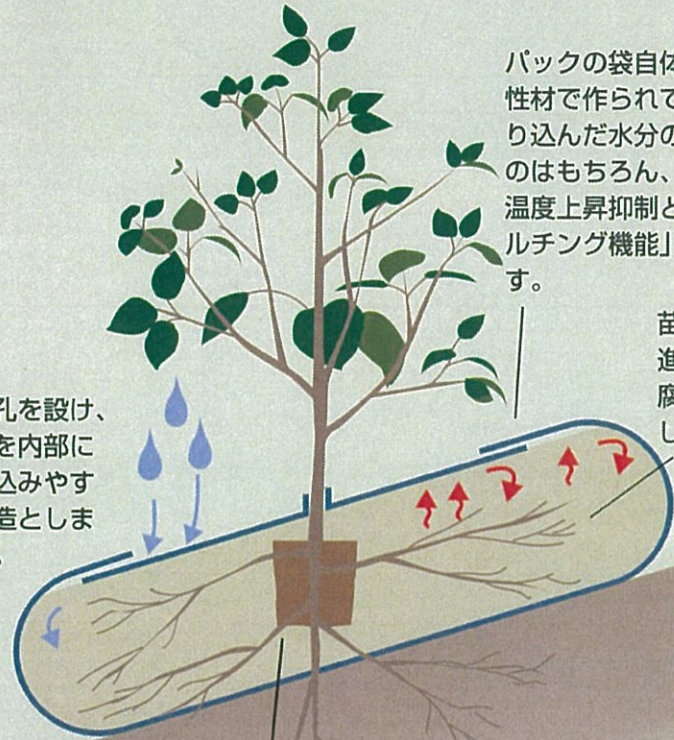
平地から、急傾斜な切り土のり面*
部まで、設置場所を選びません。し
かも固定が容易で、平地の場合は
置くだけで大丈夫です。切土のり面
などの急傾斜地に設置する場合でも、
数本のピンで固定するだけです。従
来のような大規模な網柵工事などは
必要ありません。
※永続的な緑化を行うためには、根系侵入可
能な元地盤が必要です。



パックの袋自体は、不透水
性材で作られています。取り
込んだ水分の蒸発を防ぐ
のはもちろん、雑草防止や
温度上昇抑制といった「マ
ルチング機能」を発揮しま
す。

苗木の発根を促
進するために、
腐熟堆肥を配合
しました。

集水孔を設け、
雨水を内部に
取り込みやす
い構造としま
した。



本体底面から余剰水が排
水されます。また、苗木
の生長にともなって根系
が外部に発達し、元地盤
に活着します。

パック内には、保
水性に富んだ人工
土壌を充填してあ
るので、取り込ん
だ水分を最大限貯
水します。



SP-T20

※製品に苗木は含まれません。

施工事例



極めて保水性の乏しいズリ(岩砕)盛土部に設置する
ことで、施工直後の乾燥害から苗木を守ります。また、元
地盤の土壌化に合わせて、徐々に根系を進出させます。(栃
木県)



植穴掘削が困難な軟岩切土のり面に設置し、経過年月とともに
風化する元地盤表層と堆積物に根系を進出させ活着させます。(兵
庫県)

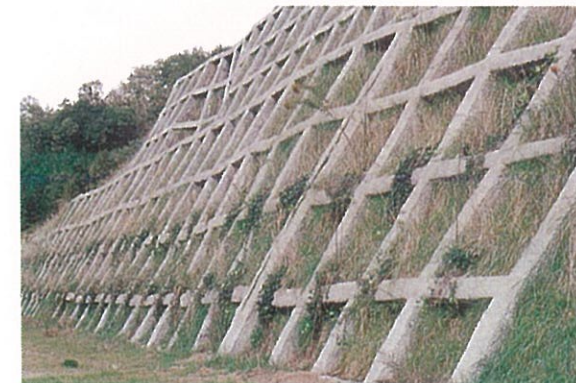


植穴掘削ができない厚層基
材吹付のり面にEG植栽パ
ックで苗木を導入し、将来
の樹林化を目指しています。(愛
媛県)

設置8カ月後



軟岩切土のり面へ自生雑苗を掘り取って設置し、遺伝子レベル
の自然復元を目指しています。(岐阜県)



のり枠内厚層基材吹付面に、EG植栽パックでツタを活着
させ、コンクリートフレーム部の修景を図っています。写
真は設置後9カ月経過した事例です。(岡山県)



切土のり面のり尻部防火帯をツタを用いて修景緑化した
事例です。(千葉県)



グランドカバー植栽を目的に既存切土
のり面へ設置。
(滋賀県)



設置後、8カ月経過。
のり面が徐々にツタで覆われ
てきています。